

## ☒ テキストの特色 ☒

- このテキストは、中学受験もにらんで、4年生の前半に学習した内容の復習を目的としています。また、これから学習する内容も、基本的なものを入れてあります。
- 各講座は2～3ページ構成で、「まとめの問題」→「練習問題」という流れになっています。
- 「まとめの問題」は、穴うめ形式になっていますので、基本事項を確認することができます。「練習問題」は、単元のまとめの問題として、大切な内容のものを入れてあります。

## も く じ

①	季節と植物	2
②	季節と動物	5
③	天気と気温の変化	8
④	からだのつくりと動き	10
⑤	電流と光のはたらき	12
⑥	星と星座	15
⑦	月の動きと形	18
⑧	ものの体積(かさ)と力・温度	21
◆	予習問題	24

## 1

## 季節と植物

●学習内容  
 ①春のようす  
 ②夏のようす

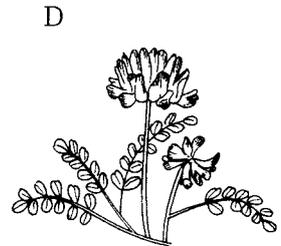
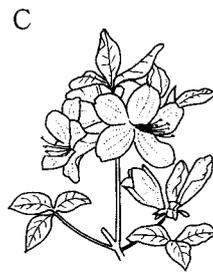
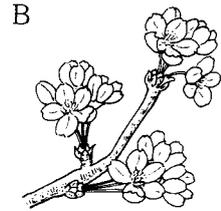
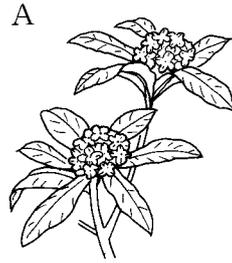
まとめの問題 空らんをうめてみよう

■ 春のようす 次の ( ) にあてはまることばを、下の [ ] から選びなさい。

校庭には、早春には (① ) (図のA)  
 がさき、春のさかりには (② ) (図のB)  
 がさき、春の終わりごろには (③ )  
 (図のC) がさいている。

野原には、早春にはホトケノザがさき、春のさ  
 かりには、スミレ、レンゲソウ、(④ )  
 などがさき、春の終わりにはシロツメクサがさい  
 ている。図のDは (⑤ ) の花である。  
 このように、春になると、寒い冬をこしてきた草  
 や木がいっせいに花をさかせる。

サクラ ジンチョウゲ レンゲソウ ツツジ  
 タンポポ オオイヌノフグリ ハルジョオン  
 ノアザミ ヘビイチゴ

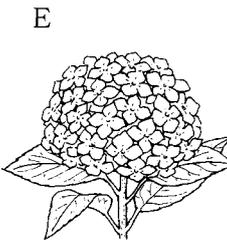


■ 夏のようす 次の ( ) にあてはまることばを、下の [ ] から選びなさい。

校庭には、初夏には (① ) (図のE)  
 がさき、夏のさかりには (② ) (図のF)、  
 キョウチクトウ、ホウセンカ、ヘチマなどがさき、  
 夏の終わりには (③ )、フヨウなどの花  
 がさいている。

野原には、初夏には (④ ) (図のG) や  
 ユキノシタなど、夏のさかりには (⑤ )  
 (図のH)、スベリヒユなどがさいている。この季  
 節には、(⑥ ) に芽を出した草や木が花  
 をさかせている。

サルスベリ アジサイ ヒマワリ アサガオ  
 ヘチマ ムクゲ ドクダミ ヒメジョオン  
 ツユクサ ダリア マツバボタン ヒヤシンス  
 モクレン ハナショウブ 冬 春



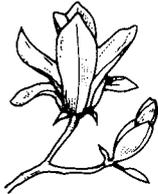
**練習問題**

1 《季節と植物》 植物の生活について、次の問いに答えなさい。

(1) 夏のころ、花だんにさく花にはどんなものがありますか。次から**すべて**選びなさい。

(            )

ア



モクレン

イ



ヒヤシンス

ウ



ヒマワリ

エ



ホウセンカ

(2) ヒマワリの育っていくようすについて、正しく説明しているものはどれですか。次から選びなさい。

(            )

- ア ヒマワリが育つと、ふた葉も本葉も葉が大きくなり、数もふえていく。
- イ ヒマワリが育つと、本葉の数はふえるが、ふた葉はやがてかれて落ちてしまう。
- ウ ヒマワリが育つと、ふた葉が次つぎに出てきて、本葉も大きくなる。
- エ ヒマワリが育つと、ふた葉の数はふえるが、本葉はやがてかれて落ちてしまう。

(3) 4月初めごろ、植物のようすを調べました。次の①～③にあてはまる植物を、下から選びなさい。

- ① 葉はまだ出ていないが、花がいっせいにさいている。 (            )
- ② 葉が大きく成長していて、花もたくさんさいている。 (            )
- ③ くきの芽から小さな葉がたくさん出ているが、花はまださいていない。(            )

ア アジサイ      イ ホウセンカ      ウ ススキ      エ インゲンマメ  
オ サクラ      カ アブラナ      キ トウモロコシ      ク オシロイバナ

(4) 次のA、Bの植物の花がさく時期として正しいものを、下から選びなさい。

A タンポポ (            )

B チューリップ (            )

ア 冬～早春      イ 春      ウ 夏      エ だいたい一年中

(5) サクラとイチョウについて説明した文で、正しい文には○、まちがっている文には×を書きなさい。

- ① サクラは、春に花がさくとすぐに、花びらや葉がちる。 (            )
- ② イチョウの葉は秋ごろに黄色くなってきて、葉を落としていく。 (            )
- ③ サクラの実は、7月～8月ごろにじゅくしていく。 (            )
- ④ イチョウの実は、すべてのイチョウの木にできる。 (            )
- ⑤ サクラやイチョウの葉は、冬のあいだはすべて落としたままである。 (            )

4 季節と植物

**2 《サクラの花》** 東京では、3月も末になると、ソメイヨシノの枝の花の芽が目に見えてふくらんでいます。これについて、次の問いに答えなさい。

(1) ソメイヨシノとよく似たつくりの花をもつものはどれですか。次から選びなさい。

ア イチョウ      イ エンドウマメ      ウ カエデ      エ バラ      (      )

(2) ソメイヨシノの花の芽は、冬の寒さにたえ、春になるとふくらんできます。花の芽からつぼみがのびてきて花がさきます。花のさく条件はなんですか。次から選びなさい。

ア 気温      イ 光の強さ      ウ 水の量      エ こん虫の数      (      )

**3 《アブラナの花》** アブラナのつくりについて、次の問いに答えなさい。

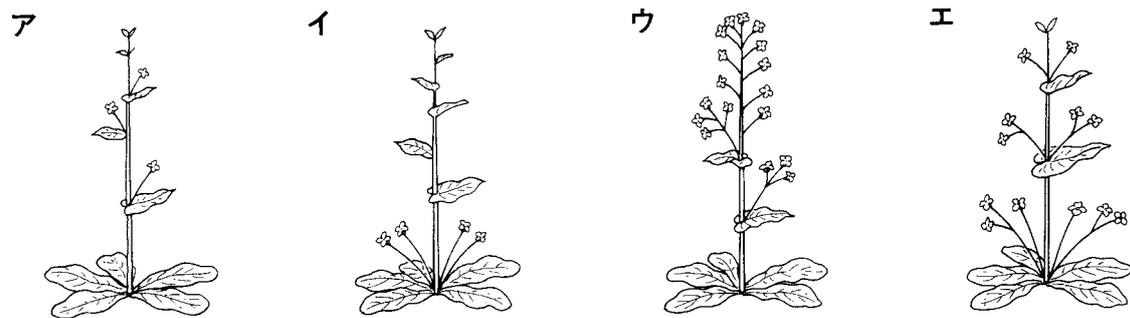
(1) 東京近辺で、アブラナのさく時期と花の色について正しいものを、次から選びなさい。

ア 3～4月ごろ、白い花がさく。      イ 3～4月ごろ、黄色い花がさく。      (      )

ウ 7～8月ごろ、白い花がさく。      エ 7～8月ごろ、黄色い花がさく。

オ 11～12月ごろ、白い花がさく。      カ 11～12月ごろ、黄色い花がさく。

(2) アブラナの花のつきかたを正しく表しているものを、次から選びなさい。(      )



(3) アブラナは、冬をどのようにしてすごしていましたか。次から選びなさい。(      )

ア 若い植物      イ 地下の根      ウ たね

(4) アブラナと最もよく似たなかまの植物を、次から選びなさい。      (      )

ア サクラ      イ ダイコン      ウ タンポポ      エ ユリ      オ ホウセンカ

**4 《春と夏の植物》** 次の①～⑥にあてはまる植物を、下から2つずつ選びなさい。

① 春、木にさく花      (      )      (      )

② 春、花だんにさく花      (      )      (      )

③ 春、野原にさく花      (      )      (      )

④ 夏、木にさく花      (      )      (      )

⑤ 夏、花だんにさく花      (      )      (      )

⑥ 夏、野原にさく花      (      )      (      )

ア チューリップ      イ アジサイ      ウ ヒメジョオン      エ サクラ

オ キョウチクトウ      カ タンポポ      キ ヒマワリ      ク レンゲソウ

ケ モモ      コ スイセン      サ ツユクサ      シ アサガオ

## 2

## 季節と動物

- 学習内容  
 ① 春に見られる動物  
 ② 夏から秋の動物

## まとめの問題 空らんをうめてみよう

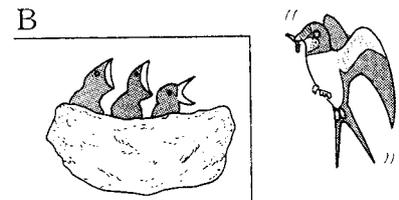
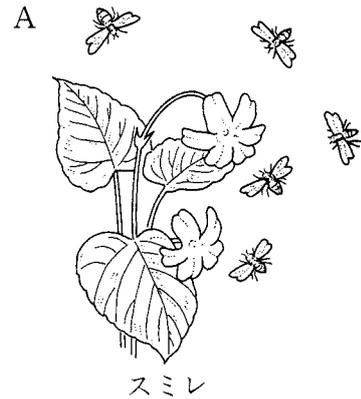
■ 春に見られる動物 次の( )にあてはまることばを、下の□から選びなさい。

春になると、冬の間、(① )していた動物がめざめ、さなぎやたまごで(② )をしたこん虫もさなぎやたまごからかえって、いっせいに活動を始める。

アブラナなどの植物には、モンシロチョウやアブラムシを食べる(③ )などが、ツツジの花には(④ )やクマバチなどが、ナシの花やスマレの花には、図のAのように(⑤ )やハナアブが集まってくる。

早春には、(⑥ )やヒバリが見られるようになり、少しおくれであたたかくなると、図のBのように、ひなにえさをやる親(⑦ )が見られるようになる。

すい眠 冬眠 冬ごし カマキリ テントウムシ  
 ミツバチ アリ アゲハチョウ ツバメ ウグイス

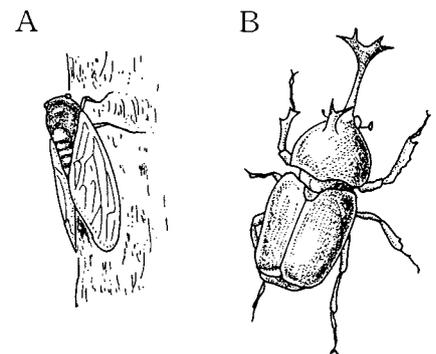


2 夏から秋の動物 次の( )にあてはまることばを、下の□から選びなさい。

夏になると、まわりには食べ物がたくさんあるので、動物の活動もさかんになる。春に見られたこん虫のほかに、(① )(図のA)などのセミのなかま、(② )(図のB)などの甲虫カブトムシのなかま、オオムラサキなどのチョウのなかまが見られるようになる。池をおよぐオタマジャクシは、尾がとれて(③ )になって、なきはじめる。森の中では、(④ )(図のC)やカッコウなどが南の国からわたってきて、さえずりはじめる。

夏も終わりころになると、(⑤ )はあたたかい南の国へ帰る準備をはじめ、10月ごろには日本からほとんどすがたを消してしまう。平地では、モズ、(⑥ )などがよく見られるようになる。

カブトムシ アブラゼミ メダカ カエル  
 ツバメ ホトトギス ハト ヒヨドリ  
 トンボ カラス



## 練習問題

1 《春の動物》 次の①～⑤の文のうち、正しく説明しているものには○、まちがって説明しているものには×を答えなさい。

- ① 春になってあたたかくなると、冬眠していた動物やさなぎで冬ごししていた動物が目をさまし、いっせいに活動をはじめ。アブラナの花の近くには、さなぎで冬ごししたモンシロチョウなどが見られる。 ( )
- ② 木にも花がさきはじめるので、こん虫が集まってくる。サクラやナシ、リンゴの花には、アゲハチョウやクマバチなどが集まってきてみつをすう。 ( )
- ③ サクラの花がさきおわり、わか葉のがのびだすころになると、アゲハチョウのよう虫が、サクラやウメの葉を食いあらす。 ( )
- ④ ヒキガエルのオタマジャクシが大きくなって、4月～5月にかけて、あしがそろってくる。 ( )
- ⑤ ウメの花がさくころにはウグイスが見られるようになり、サクラの花がさくころにはツバメが見られるようになった。 ( )

2 《季節と動物》 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

ある8月の夕方、わたしは近くの川原を歩いてみました。<sup>なかす</sup>中州のあし原の上にはきれいな夕焼けをバックにたくさんの(A)が飛んでいます。これからねぐらに入るのでしょうか。

(A)たちはそろそろ南へと渡<sup>わた</sup>って行ってしまうころです。

また、数は少ないのですが、ひらひらとまう(B)も飛んでいます。どうやら小さな虫をとっているようです。こんなにうす暗い中なのに、よくとれるなあーと感心してしまいました。ゴイサギの「クワッ」となく声も聞こえています。夕方の川原もけっこうにぎやかなものです。

帰りに近くの神社に寄<sup>よ</sup>ってみると、みきから樹液<sup>じゅえき</sup>の出ている大きなクヌギの木を見つけました。あと数時間もすれば、いろいろなこん虫が集まっていることでしょう。

(1) ( )のA、Bにあてはまる動物を、次から1つずつ選びなさい。

ア	セミ	イ	フクロウ	ウ	ウサギ	エ	カブトムシ	オ	ガ
カ	カマキリ	キ	スズメ	ク	トカゲ	ケ	チョウ	コ	コウモリ
サ	ツバメ	シ	ネズミ				A ( )	B ( )	

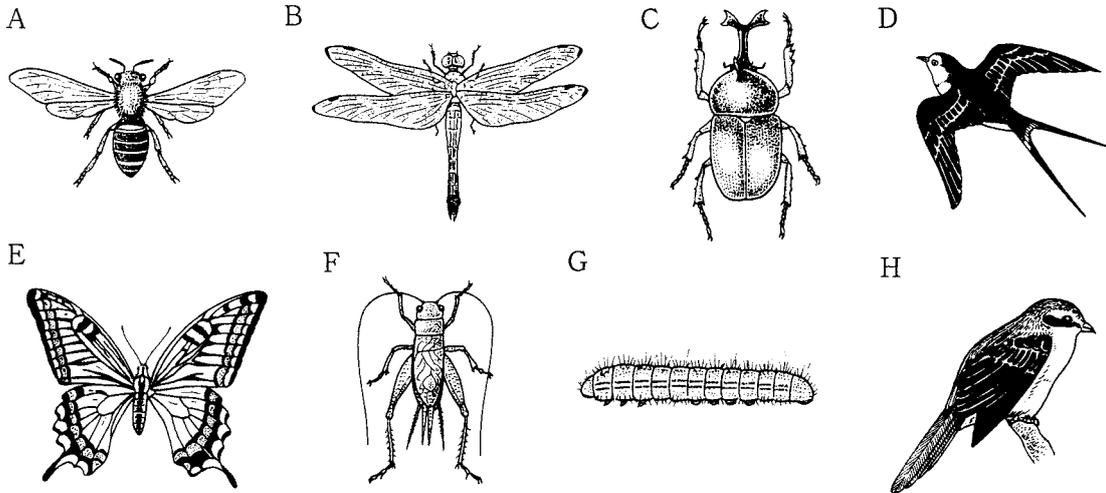
(2) Aと同じような渡りをする鳥を、次から選びなさい。 ( )

ア	スズメ	イ	ハクチョウ	ウ	カルガモ	エ	カッコウ
---	-----	---	-------	---	------	---	------

(3) 下線部のいろいろなこん虫にあてはまるものを、(1)からすべて選びなさい。 ( )

(4) Bや(3)のこん虫は、Aとはちがった生活のしかたをしています。どのようなちがいですか。かんたんに説明しなさい。 ( )

3 《季節と動物》 下の動物の図について、あとの問いに答えなさい。



(1) 図のA～Hにあてはまる動物の名まえを、それぞれ次から選びなさい。

- |   |        |   |           |   |         |
|---|--------|---|-----------|---|---------|
| ア | アゲハチョウ | イ | モンシロチョウ   | ウ | カブトムシ   |
| エ | コオロギ   | オ | オビカレハのよう虫 | カ | シオカラトンボ |
| キ | ミツバチ   | ク | ヒバリ       | ケ | モズ      |
|   |        |   |           | コ | ツバメ     |

A (        )    B (        )    C (        )    D (        )  
 E (        )    F (        )    G (        )    H (        )

(2) 図のA～Hがそれぞれ見られはじめる季節はいつごろですか。「春」、「夏」、「秋」、「冬」のことばで答えなさい。

A (        )    B (        )    C (        )    D (        )  
 E (        )    F (        )    G (        )    H (        )

(3) 次の①～⑧の文にあてはまる動物を、それぞれ図のA～Hから選びなさい。

- ① ミカンやカラタチの葉などにたまごをうみつけ、よう虫のときはそれらの葉を食べる。 (        )
- ② カエルなどをとらえて食べる。つかまえたえさを、木のえだにつきさしたりするしゅうせいがある。 (        )
- ③ よう虫のときは、葉がくさってできた土の中などでそだち、成虫になると木のしるなどをすう。 (        )
- ④ アブラナ、サクラ、ナシ、リンゴの花などに集まり、みつをすう。 (        )
- ⑤ よう虫のときは池など水の中ですごし、ヤゴとよばれている。成虫になる直前に陸上に出て、だっ皮をして成虫になる。 (        )
- ⑥ 秋ごろによく見られ、夜に美しい声でなく。 (        )
- ⑦ 春ごろ日本へわたってきて、日本でたまごをうみ、ひなをそだてる。 (        )
- ⑧ サクラやウメのえだに天まく(テント)をはって、サクラやウメの葉を食いあらす。 (        )

# 解 答

## 《S小4理科》

### ① 季節と植物

#### まとめの問題

- 1 ①ジンチョウゲ ②サクラ ③ツツジ  
④タンポポ ⑤レンゲソウ
- 2 ①アジサイ ②アサガオ ③ムクゲ  
④ヒメジョオン ⑤ツユクサ ⑥春

#### 練習問題

- 1 (1)ウ, エ (2)イ (3)①オ ②カ  
③ウ (4)Aイ Bイ (5)①× ②○  
③○ ④× ⑤○

[考え方] (1)モクレン, ヒヤシンスは春にさく花である。(2)花がさくとき, はじめにふた葉が出てから本葉が出てくる。(3)ススキは秋に花をさかせる。(5)①花びらはすぐにちるが, 葉がちるのは秋のころである。

- 2 (1)エ (2)ア

[考え方] ソメイヨシノは, 東京では, 3月末から4月上じゅんにかけて花がひらく。

- 3 (1)イ (2)ウ (3)ア (4)イ

[考え方] (3)アブラナは秋にたねをまき, 成長して冬をこし, 春に花をさかせる。このような成長のしかたをする植物を, 2年生植物という。(4)ダイコン, キャベツなども, アブラナと同じなかまである。これらの植物は, 秋に発芽して, 冬をこして, よく年の春に花をさかせる。

- 4 ①エ, ケ ②ア, コ ③カ, ク ④イ, オ ⑤キ, シ ⑥ウ, サ

[考え方] 春にさく花, 夏にさく花に分

けてから, 木にさく花, 花だんにさく花, 野原にさく花に分けていくとよい。

## ② 季節と動物

### まとめの問題

- ①冬眠 ②冬ごし ③テントウムシ  
④アゲハチョウ ⑤ミツバチ  
⑥ウグイス ⑦ツバメ
- 2 ①アブラゼミ ②カブトムシ ③カエル  
④ホトトギス ⑤ツバメ ⑥ヒヨドリ

### 練習問題

- 1 ①○ ②× ③× ④○ ⑤○  
[考え方] ②サクラやナシ、リンゴの花に集まってくるのは、ミツバチやハナアブなどである。アゲハチョウやクマバチはツツジの花などに集まる。③サクラやウメの葉を食いあらず虫は、オビカレハのよう虫である。アゲハチョウのよう虫は、ミカンやサンショウの葉を食いあらず。
- 2 (1)Aサ Bコ (2)エ (3)エ, オ, ケ  
(4)夜間になると活発に運動する。  
[考え方] (1), (2)ツバメ, カッコウは夏鳥で、ハクチョウ, カルガモは冬鳥である。スズメは1年中日本にいる。(3), (4)セミは昼間活動するが、カブトムシは夜間活動する。
- 3 (1)Aキ Bカ Cウ Dコ Eア  
Fエ Gオ Hケ (2)A春 B夏 C夏  
D春 E春 F秋 G春 H秋 (3)①E  
②H ③C ④A ⑤B ⑥F ⑦D  
⑧G  
[考え方] (2)トンボ, カブトムシは夏になると見られはじめる。夏, 山にいくと、たくさんのアカトンボが見られる。これはアキアカネという種類で、平地でかえたものが、山に移り、秋になると、ま

た平地にもどってくる。(3)②冬になると、畑のまわりの鉄じょうもうや、木のえだに、トカゲやカエル、バッタなどがつきさしてあるのを見つけることができる。これは、モズの「はやにえ」とよばれるものである。